

津久井の森林をテーマに企画展を開催！

「流送と育林—津久井の近代林業史—」

相模原市立公文書館では、相模原市の自然資源である森林に関連し、山林伐採や木材を川に流して運ぶ流送事業から水源林保護事業への移り変わりなど、明治から昭和にかけての津久井地域の林業に関する歴史的公文書などを展示する企画展を開催します。

また、開催期間中、関東大震災前後の森林をテーマにした講演会を開催します。

1 開催期間

令和4年7月22日(金)～9月30日(金) 午前8時45分～午後5時

※休館日は土・日曜日、祝日です。展示解説を開催する土曜日は開館します。

※次のとおり公文書館職員による展示解説(公文書館トーク・トーク)を行います。

希望する方は直接会場へお越しください。

開催日時 令和4年7月23日(土)、8月27日(土)、9月24日(土)
午後2時～午後3時

2 開催場所

相模原市立公文書館 (緑区久保沢1丁目3番1号 城山総合事務所第2別館3階)

3 内容

明治期、鳥屋山ではケヤキの伐採が行われ、山林資源の有用性が村人に意識されます。大正期、青根山の特に神ノ川流域での木材伐採と流送事業が盛んになります。

さらに、関東大震災から戦時の乱伐により山林が荒廃したことにより育林が意識され、やがて水源林保護事業につながっていきます。

これら時期の特徴的な歴史的公文書等によりその流れを明らかにします。

4 講演会「関東大震災から見た森林～丹沢山地と森林史から浮かびあがるもの～」

日時 令和4年9月3日(土) 午後2時～午後4時(開場 午後1時30分)

場所 相模原市立公文書館

講師 神奈川県県央地域県政総合センター森林部 部長 内山 豊 氏

申込 8月3日(水)から電話又はメールで受付を開始します。(先着順)

※申込方法等は別添チラシのとおりです。

問い合わせ先
直通電話 042-783-8053
公文書館 井上 泰

相模原市立公文書館第21回企画展

流送と育林

津久井の近代林業史



開催期間

令和4年7月22日(金)

～9月30日(金)

時間 午前8時45分～午後5時

場所 相模原市立公文書館

休館日:土・日、祝日

なお、公文書館トーク・トーク(展示解説)の開催日は開館します。

公文書館トーク・トーク(展示解説)開催日時:

7月23日(土)、8月27日(土)、9月24日(土) いずれも午後2時～午後3時

問い合わせ 相模原市立公文書館 電話042(783)8053



展示概要

明治期、鳥屋山ではケヤキの伐採が行われ、山林資源の有用性が村人に意識されます。大正期、青根山の、特に神ノ川流域での木材を伐採し、木材を川に流して運ぶ「流送」事業が盛んになります。

関東大震災から戦時の乱伐のため山林が荒れたことにより育林が意識され、やがて水源林保護事業につながっていきます。

こうしたそれぞれの時期の特徴的な歴史的公文書等によりその流れを明らかにします。



二番虹梁になりそこねたケヤキ 地名伝承から事実へ

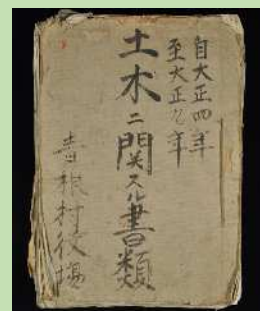
鳥屋山に大虹梁（おおごりょう）という地名が残っており、京都東本願寺の二番虹梁（化粧の梁材）を採った場所だと伝えられてきました。平成18年、東本願寺から津久井郡鳥屋村の木材関係の資料について問合せがあり、明治13年から16年にかけての実際の事件であることがわかります。結論としては「控え木」とされ、御影堂等に使われた形跡はありませんでした。

ケヤキ山事件

鳥屋山のケヤキは、山林の販売代金をめぐり、村人全員に分配しろという主張と村の基本財産とする主張とで村を二分する争いになり、ケヤキ山事件と呼ばれています。

大倉組の伐採・流送事業

神ノ川の共有林は、大正に入り大倉組が権利を手に入れ、長者舎に伐木所を設けて伐採事業に入ります。



地元企業の流送事業

太井村荒川地区の住民や大倉組の流送事業に参入した人などを中心に地元でも流送事業が活発化します。

昭和の植林事業

関東大震災を経て、戦後になると企業庁が水源林として植林事業に参入し治山治水事業も進んでいきます。

講演会を開催します！

『関東大震災から見た森林～丹沢山地の地震と森林史から浮かびあがるもの～』

日時 令和4年9月3日（土） 午後2時～午後4時（開場 午後1時30分）

会場 相模原市立公文書館

講師 神奈川県県央地域県政総合センター森林部 部長 内山 豊 氏

講演会の詳細は、改めて市ホームページや広報さがみはら、チラシでお知らせします。

相模原市立公文書館

所在地 〒252-5192 相模原市緑区久保沢1-3-1 城山総合事務所 第2別館3階

ホームページ <https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisetsu/shikanren/etc/1002758.html>



関東大震災から見た森林

～丹沢山地の地震と森林史から浮かびあがるもの～



市立公文書館第21回企画展「流送と育林 - 津久井の近代林業史」の開催に併せ、山林に特に大きな影響を与えた関東大震災を中心に大震災前後を振り返ります。

日時 令和4年9月3日(土)

午後1時30分 開場
午後2時00分 開演
午後4時00分 終演(予定)

会場 相模原市立公文書館

受付 第2別館3階
講演会場 第2別館2階A会議室

定員 50名

申込方法 電話又はEメールで申し込み。
8月3日(水)から受付を開始します。定員になり次第締め切ります。(先着順)
Eメールでは、「講演会申込み」の旨と氏名、連絡先、参加人数をお知らせください。

講師



神奈川県県央地域県政総合センター
森林部 部長 内山 豊 氏

【プロフィール】平成7年、林野庁から関東大震災時における神奈川県の治山対応のまとめの要請を受けたことをきっかけに森林史に関わり、これまで「早戸川森林史」や「神ノ川森林史」などをまとめる。

【アクセス】

橋本駅北口からは「橋01三ヶ木」行き、南口からは「橋08若葉台住宅」行きのバスが出ています。三ヶ木方面からは橋本駅行きバスを利用、「城山総合事務所入口」で下車。

